

# 第10回高知の輝くシニア大賞及びシニア川柳

高知県社会福祉協議会では、平成26年度よりシニアの生きがい・健康づくりについて啓発することを目的に「高知の輝くシニア大賞」として、高知県内で長年地域づくりやスポーツ・文化面で活躍される概ね65歳以上のシニアを表彰しています。また、シニア大賞を広く知っていただくためのプロモーション企画として「シニア川柳」の募集も併せて行っております。

## 高知の輝くシニア大賞

(年齢は令和5年11月1日時点のものとなっております。)

今年度開催した第10回高知の輝くシニア大賞では、地域でのボランティア、ソフトボールやコーラスなど様々な活動をしている9名のシニアの方々に対して、大賞1名、地域貢献部門特別賞1名、スーパーシニア部門特別賞1名、いごっそう賞1名、はちきん賞1名、キラリ賞4名の受賞を決定しました。そこで、受賞が決定した皆様をご紹介します！



## シニア大賞

お元気コール

セカンドライフ夢追い塾 他

## 西村 啓子さん (75歳・佐川町)

西村氏は定年退職後の約16年前に佐川町へ移住。縁もゆかりもない地域に移住したため、地域住民とのつながりをつくりたいという想いで佐川町社会福祉協議会が開催する講座や佐川町が開催する百歳体操に参加した。それがきっかけとなり、「お元気コール」というボランティア活動に参加し、電話で高齢者の安否確認等を行っている。この他にも、シニアの仲間・健康づくりのために活動している「セカンドライフ夢追い塾」の運営委員、「JA あぐりミドルスクール」のアドバイザー等、7つの活動を並行して行う。このため、西村氏は毎日活動をしているのだが、地域の「ありがとう」という言葉がモチベーションとなり活動継続ができているという。非常にバイタリティー溢れる人物である。





地域貢献部門  
**特別賞**

佐川読みっ子応援団  
佐川くろがねの会 他

## 田村 裕子さん (77歳・佐川町)



田村氏は、平成19年度に「佐川読みっ子応援団」を結成。佐川町の図書館利用者を増やしたいという思いから、佐川町内の子育て支援センター、保育所、小学校等に訪問し、読み聞かせの活動を開始したという。活動は広がり、佐川町内の子どもたちからは「まほうのおばちゃん」と呼ばれるほど慕われている。また、魔法にかかるような感覚になるくらい子どもたちが本に浸ることができる時間になっているということである。また、子どもたちだけではなく、シニアの集いでも大人用紙芝居の読み聞かせを行っている。

この他にも、「佐川くろがねの会」という団体で佐川町の活性化活動、観光事業発展に尽力している。



スーパーシニア部門  
**特別賞**

高知県シニアソフトボール連盟

## 青山 清水さん (76歳・高知市)



平成27年1月より、高知県シニアソフトボール連盟の理事長として、高知県下のシニアソフトボール（60歳以上）愛好者のトップに立ち組織をまとめている。また、全国大会を高知県で開催する際に、主として活動しており、高知県の観光PR及び活性化にも貢献している。まさに、来年シニアソフトボールの全国大会が高知県で開催することが決まっており、シニアソフトボールの発展及び高知県の経済波及効果にも良い影響を与えることが期待されている。

なお、ソフトボールの他にも、音楽活動をしており、「国際的な音楽交流を中心に高知を楽しくするプロジェクト」にも積極的に参画している。非常に多彩な人物である。

(左) 高知県シニアソフトボール連盟事務局 篠原氏

(中) 青山氏 (右) 青山氏の奥様



いごっそう賞

比島町忘れな草の会

山本 哲也さん (79 歳・高知市)



かつて、市区画整理事業を実施した比島町は、完成後、従来と宅地並びが大きく様変わりし、空き地も散財、隣近所の繋がりが希薄になった。状況を愁いた山本氏は、町内の繋がりを復活させようと知人らとお茶会を始め「忘れな草の会」として本格的に活動を開始、日常生活の安全安心の為に、健康・防犯・防災講習会や音楽・マジック・折り紙等更に花見会や郊外研修を行い誰もが、笑顔で楽しくなれる場づくりの企画・運営・開催まで精力的に活動している。一方脊柱管狭窄症で体調を崩したが水泳で完治させ、2019年日本マスターズ200mバタフライ75~79歳の部でランキング1位に、2013年ねんりんピックよさこい高知大会100m混合メドレーで優勝に貢献。ニーチェの「この人生をもう一度そのまま繰り返してもかまわないという生き方をしてみよ」が、座右の銘。人生100年時代、「まだ20年もある。やることが一杯あるよ」と言って、笑顔でプールへ飛び込んだ。主体性と積極性が非常に感じられる人物である。



はちきん賞

混声コーラス・令和

島崎 美智さん (83 歳・香南市)



現職時代は千葉県で音楽教師をしており、「花みずき」という女性コーラスを20年間指導。帰郷し、夜須町の「マリソール・やす」を20年間指導。その後、野市町にて「混声コーラス・令和」の指導を始め、本年度で6年目を迎える。“混声”であるため男性コーラスもあるが、指導は初めてである。島崎氏は、コーラスの声が重なるところが非常に綺麗で感動するという。また、サークル内の雰囲気が大変良く、皆が家族のような関係性となっている。そのため、上手下手関係なく、皆が楽しんで歌える。会員からは「楽しみが増え、生活が潤う」「笑顔が増えた」という声がある。島崎氏自身もユーモアたっぷりの話で会全体を盛り上げており、会員から非常に慕われている。

「混声コーラス・令和」活動写真



## キラリ賞



高知県くらしのサポーター友の会

## 吉松 慎子さん (73 歳・高知市)

平成 21 年から高知県くらしのサポーターとして活動している。令和 2 年より「高知県くらしのサポーター友の会」が発足され、副会長として活躍。くらしのサポーターとしては、活動し始めて 15 年目となっている。高知県や高知警察本部が毎年 5 月、10 月に実施する消費者問題にかかる県民啓発事業に参加し協力をしている。また、安心・安全なまちづくりを目指し、量販店にも出向き、啓発チラシ等の配布などに積極的に取り組んでいる。詐欺等は高齢者が狙われるケースが多く、コツコツと努力して貯めたお金を盗られてしまうことは非常に悔しい。そういった被害に遭う人々を少しでも少なくしたいという想いで積極的に活動し続けている。



## キラリ賞



G の会

## 甲藤 壽寛さん (76 歳・いの町)

甲藤氏は、10 年ほど前からいの町交通安全指導員や保護司として積極的に地域で活動していた。5 年ほど前に認知症と診断され、その頃に「G の会」を知る。甲藤氏はもともと料理が好きであり料理教室等の活動に興味を持ち入会し、今では料理教室の他にもボランティア活動や他団体との交流など積極的に活動している。子どもたちと一緒にベンチづくりをする際は子どもたちが安全に作業できるように見守りながら自分ができることを行っていた。

認知症であってもできることをしながら保護司の活動も継続していたが、月 1 回の対象者との面談ができなくなり保護司を令和 5 年 4 月に退任。

「認知症になっても自分ができることは行う。気にしないことは大事なこと。」と話してくれた。

(左) 甲藤氏 (右) 甲藤氏の奥様



## キラリ賞

高森山花咲か爺さんの会

### 西森 敏夫さん (81歳・仁淀川町)



(左) 高森山花咲か爺さんの会 橋本会長  
(中) 西森氏  
(右) 高森山花咲か爺さんの会 片岡氏

平成27年ごろに「高森山花咲か爺さんの会」の橋本会長、片岡氏から勧誘を受け、入会。西森氏は、仁淀川町森地区のシンボルである高森山の環境美化活動という会の目的に賛同し、仲間を多く集めた。以前、高森山は桜の名所と呼ばれていたが椎の木で覆いつくされその面影もなくなってしまうていた。自分たちが住む森地区高森山を以前のような綺麗な山にしたいという想いで立ちあがった。とはいえ木を切るという行為は大変危険な行為であるため、西森氏は誰も怪我を負わないよう何日も前から計画を練るという。誰もが頼りにしている存在なのである。現在、西森氏は会の中心的人物として、高森山の見守り、後輩の指導等を行い、会の親睦・継続や活動に尽力している。



## キラリ賞

梶原町老人クラブ連合会

### 市川 辰壽さん (71歳・梶原町)

市川氏は、現職時代は県外で過ごした。定年退職後梶原町へ帰郷し、梶原町社会福祉協議会の職員から勧誘を受け、「梶原町老人クラブ連合会」へ入会。最初の1年間は会員として活動するが、2年目以降は副会長として積極的に活動している。高齢者世帯を定期的に訪問する見守り活動に取り組んでおり2人1組で月1回3軒訪問している。その際にも市川氏は会話の中から様子などに変化はないか探り出す。また草刈りやマムシの駆除等、幅広い地域の困りごとへの“お助けマン”としても活躍している。作業も非常に丁寧であるため、地域住民からも大変頼りにされ、喜ばれている。地域からの信頼が非常に厚く、地域にとって必要不可欠な人物となっている。



梶原町地区内の集い (右上) 市川氏

# シニア川柳 (年齢は応募時点のものとなっております。)

シニア川柳では「いきいきと活動するシニアに関すること」をお題に64名から187句の多数の応募がありました。ご応募、ありがとうございました。応募作品の中から審査を経て入選した計20作品をご紹介します。自分自身や家族に思うこと、笑いあり、涙ありの輝いた作品となっております。



## 大賞

にわか雨杖を抱えて走り出す

大八木 博さん

(75歳・土佐市)



## 優秀賞

ランチ食ベシメに薬を皆で飲む

中野 博志さん

(72歳・高知市)

フレイルになってしまった筋トレだ

宮村 茂雄さん

(81歳・高知市)

ダンスしてころらんまん飛びはねる

西森 孝さん

(63歳・高知市)



## 審査員特別賞

きようはデイ早起きをしてするメイク

佐竹 マサ子さん

(85歳・大豊町)

夫から言葉で聞きたい「ありがとう」

松岡 充子さん

(79歳・宿毛市)

もう一度さくら見せたい車イス

川村 清子さん

(78歳・宿毛市)

同じギャグ何度も笑うキミが好き

和田 敦子さん

(69歳・高知市)

サービスデー手押し車が集合す

中谷 潔一さん

(79歳・高知市)

軽トラのカッコ良すぎる九十六

片岡 稔和さん

(70歳・仁淀川町)



## 佳作

蝉時雨やんちゃ夕暮れ好々爺

中村 高利さん

(65歳・南国市)

老々の介護で転び笑い皺

西原 時子さん

(79歳・いの町)

ふるさとはきょうも無人バス寂し

福永 篤美さん

(81歳・中土佐町)

百歳体操ホの字もあって若返る

桑名 孝雄さん

(94歳・香南市)

長生きの苦勞ルンルンでもないよ

桑名 孝雄さん

(94歳・香南市)

願わくば会いに行きたし初恋よ

佐竹 マサ子さん

(85歳・大豊町)

老眼鏡近い未来は見えている

神田 二三夫さん

(75歳・南国市)

ささえたりささえられたりよく笑う

小山 彰一さん

(86歳・高知市)

九八四三(くやしき)は暗証番号に託します

筒井 孝子さん

(82歳・いの町)

青春がもどったような好奇心

矢野 晴美さん

(70歳・土佐市)